

平成 30 年 10 月 31 日

## 第 153 回 県内企業・業況調査結果

株式会社 鹿児島銀行  
株式会社 九州経済研究所

[ 調査要領 ]	
対象期間	平成 30 年 7～9 月期実績見込み 平成 30 年 10～12 月期見通し
調査時期	平成 30 年 9 月下旬
調査方法	インターネット及び郵送
対象企業	県内主要企業 500 社
回答企業数	356 社（回答率 71.2%）
特別質問項目	NHK 大河ドラマ「西郷どん」について 事業承継について

用語 今期＝平成 30 年 7～9 月期 来期＝平成 30 年 10～12 月期  
前期＝平成 30 年 4～6 月期 前年同期＝平成 29 年 7～9 月期  
D.I. ＝「良い」－「悪い」、「増加」－「減少」、いずれも回答企業割合

### 「調査結果のポイント」

#### 1. 今期の業況～ほぼ横ばい

今期は総合建設業、土木建設業、建設資材卸売業、電機・電子部品製造業が改善したものの、運輸・通信業、その他建設業が大幅に下落したこと等から、業況 D.I. は全体で▲8 となり、前期（▲7）とほぼ横ばいだった。第 151 回から 3 回連続のマイナス圏となった。

#### 2. 来期の業況見通し～やや改善

来期の見通しは▲6 と今期（▲8）からやや改善する見通し。

#### 3. 設備投資

- ① 今期、設備投資を実施した企業割合は 36% と、前期（37%）とほぼ横ばいだった。
- ② 今期の設備投資の合計金額(実額)は全産業ベースで 157 億円、前年同期比 53.9% 増となった。来期の設備投資の合計金額(実額)は全産業ベースで 141 億円となり、前年同期比 29.1% 減となる見通し。

#### 4. 経営上の問題点(内部環境・外部環境)

「人手不足・求人難」を挙げる企業割合が54%と平成29年1~3月期の調査以来7回連続最多となり、依然として深刻な問題となっている。

#### 5. NHK大河ドラマ「西郷どん」について

「西郷どん」放映による業績への効果について、「効果がかなりある」、「効果が少しある」の合計は24%だった。「どのような効果があったか」について尋ねたところ、「来訪(客)の増加」(46%)が最も多かった。一方、「放映効果が無い理由」については「業種的に関連が無いから」(86%)が最も多かった。

#### 6. 事業承継について

経営者の年齢について、「60代」(37%)、「50代」(28%)、「40代」(19%)の順となった。

このうち経営者の年齢が60代以上の企業に以下の点を聞いた。「後継者が決まっているか」について尋ねたところ、「決まっている」が46%、「決まっていない」が54%となった。事業承継の進捗について、「少し進んだ」(44%)、「ほとんど進んでいない」(25%)、「ほぼ済んだ」(20%)となった。具体的な取り組みについて、「後継者の育成」(62%)、「後継者への株式譲渡」(36%)、「税理士に相談」(34%)の順となった。後継者が決まっていない理由について、「後継者を探しているところ」が41%、「事業継続が未定」が9%となった。

#### 1. 今期の業況 ～ほぼ横ばい

今期の業況 D.I.は▲8となり、前期(▲7)とほぼ横ばいだった(図表1)。第151回から3回連続のマイナス圏となった。

業況 D.I.を業種別(中分類)で見ると、鹿児島市中央町の再開発や分譲マンション着工、公共工事などが総合建設業(前期▲18→今期10)、土木建設業(同7→29)、建設資材卸売業(同▲9→13)の業況を押し上げた。また自動車関連の電子部品の需要が堅調な電機・電子部品製造業(同0→14)が大幅に改善した。

一方、台風などの天候不順の影響で運輸・通信業(同0→▲40)、住宅や中小規模の一般物件が低調に推移したその他建設業(同8→▲27)が大幅に下落した。

業種別(大分類)では、卸売業(同▲20→▲6)がマイナス圏内ではあるが大幅に改善し、建設業(同2→10)は改善、小売業(同▲9→▲9)は横ばいだった(図表1)。一方、製造業(同▲14→▲18)がやや下落、その他産業(同0→▲9)がマイナス圏に落ち込んだ。

## 2. 来期の業況見通し ～やや改善

来期の業況見通し D.I.は▲6と今期(▲8)からやや改善する見通し(図表1)。

業況見通し D.I.を業種別(大分類)にみると、卸売業(今期▲6→来期▲10)、その他産業(同▲9→▲11)はマイナス圏内で下落する見込み。建設業(同10→9)はほぼ横ばいだった。一方、製造業(同▲18→▲11)はマイナス圏内ながら改善する見込みで、小売業(同▲9→2)は大幅に改善する見込み。

## 3. 設備投資 ～ 実施した企業割合は前期とほぼ横ばい

今期、設備投資を実施した企業割合は36%と、前期(37%)とほぼ横ばいだった(図表6、7)。来期に設備投資を予定する企業割合は34%で、今期(36%)からやや減少する見込み。

今期の設備投資の合計金額(実額)は全産業ベースで157億円、前年同期比53.9%増となった(図表8)。業種別では製造業の78億円(同95.0%増)が最も多く、その他産業が40億円(同4.8%減)、小売業が29億円(同141.7%増)、卸売業が8億円(同700.0%増)、建設業が3億円(同57.1%減)の順だった。

来期の設備投資の合計金額(実額)は全産業ベースで141億円となり、前年同期比29.1%減となる見通し。業種別では製造業71億円(同29.1%増)が最も多く、以下、その他産業が44億円(同52.7%減)、小売業が18億円(同80.0%増)、建設業が8億円(同166.7%増)の順となった。

1 社当たり設備投資の金額別構成比をみると、今期の全産業では「1千万円未満」が全体の35%で最多となった(図表9)。次いで、「1～5千万円未満」(33%)、「1～5億円未満」(15%)、「5千万～1億円未満」(12%)と続いた。一方、来期は「1～5千万円未満」が38%で最多となった。次いで、「1千万円未満」(27%)、「1～5億円未満」(17%)、「5千万～1億円未満」(11%)と続いた。

業種別(大分類)にみると、今期は、「1千万円未満」の割合が卸売業で43%、その他産業では39%と小口投資が目立った。なお、10億円以上の大型投資は製造業とその他産業のみで計上された。

来期は製造業、建設業、小売業、その他産業で「1千万円未満」の割合が減少する一方、卸売業は「1千万円未満」の割合が50%と前期43%から増加する見通し。

また、10億円以上の大型投資は今期同様製造業とその他産業のみで計上されている。

#### 4. 経営上の問題点(内部環境・外部環境)～依然として人手不足が問題

経営上の問題点(内部環境・外部環境)は、「人手不足・求人難」(54%)と回答した企業割合が最も多かった(図表 10、11)。「人手不足・求人難」は平成 29 年 1～3 月期の調査以来 7 回連続で単独トップとなっており、依然として深刻な問題であることがうかがえる。以下、「競争激化」(46%)、「売上・受注不振」(31%)と続いた。

#### 5. NHK大河ドラマ「西郷(せご)どん」について

NHK 大河ドラマ「西郷どん」が放映されている中、県内企業における放映の効果、関連する設備投資などについて聞いた。

「西郷どん」放映による業績への効果について、効果があった(「効果がかかなりある」と「効果が少しある」の合計)は全体の 24%だった(図表 12)。業種別にみると、卸売業が 37%と最も多く、次いでその他産業(28%)、製造業(26%)、小売業(25%)、建設業(4%)の順となった。

「どのような効果があったか」について尋ねたところ、「来訪(店)客の増加」(46%)が最も多かった(図表 13)。次いで「自社商(製)品の売上増加」(42%)、「(社内外の)話題提供」(33%)、「PR・宣伝効果」(28%)、「(社員が)鹿児島県の歴史を知るきっかけになった」(19%)の順となった。

一方、「放映効果が無い理由」については「業種的に関連が無いから」(86%)が最も多かった(図表 14)。次いで「自社が特に何も取り組んでいないから」(14%)、「西郷どんゆかりの地でないから」(7%)の順となった。

西郷どん放映に関連した設備投資について、「設備投資を実施した(する予定)」企業は回答があった 345 社の中で 10 社にとどまり全体の 3%だった(図表 15)。設備投資の目的は「集客」、「販売チャネル(経路)を増やすため」、「地元企業としてのイメージ向上」などであった。設備投資の具体的な内容は「新しい機械の導入」、「新店舗の開設」、「維新関連キャラクターを店舗、車両などに掲示する」などであった。

## 6. 事業承継について

高齢化社会の到来に伴い、全国的に経営者の高齢化も進行している。県内企業の事業承継について聞いた。

**経営者の年齢**について、「60代」(37%)が最も多く、次いで「50代」(28%)、「40代」(19%)、「70代」(10%)、「30代以下」(3%)、「80代」(2%)、「90代以上」(1%)の順となった。(図表16)。

このうち経営者の年齢が60代以上の企業に以下の点をお聞きした(ただし自由意見は全企業にお聞きした)。

**「後継者が決まっているか」**について尋ねたところ、「決まっている」が46%、「決まっていない」が54%となった(図表17)。

**「後継者は誰か」**について尋ねたところ、「子」が70%と最も多かった(図表18)。次いで「役員」(22%)で、「親族(子以外)」と「従業員」(ともに4%)が続いた。

**事業承継の進捗**について、「少し進んだ」が44%と最も多かった(図表19)。次いで「ほとんど進んでいない」(25%)、「ほぼ済んだ」(20%)、「何もしていない」(8%)、「完了した」(3%)の順となった。

**事業承継の具体的な取り組み**について、「後継者の育成」が62%と最も多かった(図表20)。次いで「後継者への株式譲渡」(36%)、「税理士に相談」(34%)、「自社株の評価額の算出」(28%)、「次期幹部の育成」(26%)、「次期経営体制の構築」(26%)となった。

**後継者が決まっていない理由**について、「後継者を探しているところ」が41%、「事業継続が未定」が9%だった(図表21)。

**事業承継についての自由意見**では、「期日は未定ながらグループ企業再編等があり、(事業承継は)親会社の意向で決まるため何も言えない」、「(事業承継について)グループの判断になると思う」、「(後継者は)10年後に決定して引き継げるよう考えていきたい」、「(事業承継について)個人の保証問題がネックになる」、「従来受注していた会社が廃業して、業界の受注形態に変化が出ている」、「後継者・株式など時間をかけて取組む必要がある」などが挙げられた。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】

㈱九州経済研究所(TEL 099-225-7491)

《資料編》

第153回県内企業・業況調査結果集計表

図表1 各項目D. I.

単位：%

状況 項目	平成30年4～6月期				平成30年7～9月期					平成30年10～12月期				
	前期 実績				今期 実績					来期 見通し				
	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D. I. (A)-(C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D. I. (A)-(C)	差 (今期-前期)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D. I. (A)-(C)	差 (来期-今期)
自社の業況	16	61	23	▲7	15	62	23	↓▲8	(▲1)	12	70	18	↑▲6	(▲2)
製造業	17	52	31	▲14	17	48	35	↓▲18	(▲4)	13	63	24	↑▲11	(▲7)
建設業	15	72	13	2	19	72	9	↑10	(▲8)	17	75	8	↓9	(▲1)
卸売業	10	60	30	▲20	10	74	16	↑▲6	(▲14)	11	68	21	↓▲10	(▲4)
小売業	13	65	22	▲9	12	67	21	-▲9	(▲0)	10	82	8	↑2	(▲11)
その他産業	19	62	19	0	13	65	22	↓▲9	(▲9)	9	71	20	↓▲11	(▲2)
生産高(製造業)	35	40	25	10	25	42	33	↓▲8	(▲18)	16	59	25	↓▲9	(▲1)
売上・完工高	27	44	29	▲2	26	46	28	-▲2	(▲0)	19	63	18	↑1	(▲3)
製造業	29	37	34	▲5	24	37	39	↓▲15	(▲10)	19	58	23	↑▲4	(▲11)
建設業	21	47	32	▲11	23	56	21	↑2	(▲13)	13	76	11	-2	(▲0)
卸売業	26	36	38	▲12	37	37	26	↑11	(▲23)	16	68	16	↓0	(▲11)
小売業	32	47	21	11	23	57	20	↓3	(▲8)	29	59	12	↑17	(▲14)
その他産業	27	51	22	5	28	49	23	-5	(▲0)	18	62	20	↓▲2	(▲7)
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 10	適正 83	不足 7	3	過剰 8	適正 86	不足 6	↓2	▲1					
製造業	17	74	9	8	13	79	8	↓5	▲3					
建設業	4	82	14	▲10	0	91	9	↑▲9	1					
卸売業	11	86	3	8	3	92	5	↓▲2	▲10					
小売業	10	86	4	6	14	82	4	↑10	4					
その他産業	5	90	5	0	5	93	2	↑3	3					
損益	好転 18	横ばい 54	悪化 28	▲10	好転 16	横ばい 56	悪化 28	↓▲12	(▲2)	好転 11	横ばい 68	悪化 21	↑▲10	(▲2)
製造業	16	46	38	▲22	14	52	34	↑▲20	(▲2)	10	65	25	↑▲15	(▲5)
建設業	17	68	15	2	11	66	23	↓▲12	(▲14)	6	79	15	↑▲9	(▲3)
卸売業	17	51	32	▲15	22	56	22	↑0	(▲15)	5	74	21	↓▲16	(▲16)
小売業	23	55	22	1	20	59	21	↓▲1	(▲2)	17	67	16	↑1	(▲2)
その他産業	18	54	28	▲10	15	55	30	↓▲15	(▲5)	12	64	24	↑▲12	(▲3)
販売価格	上昇 20	横ばい 71	低下 9	11	上昇 20	横ばい 72	低下 8	↑12	(▲1)	上昇 19	横ばい 73	低下 8	↓11	(▲1)
製造業	22	69	9	13	15	77	8	↓7	(▲6)	21	71	8	↑13	(▲6)
建設業	30	62	8	22	20	74	6	↓14	(▲8)	22	70	8	-14	(▲0)
卸売業	24	63	13	11	32	60	8	↑24	(▲13)	17	72	11	↓6	(▲18)
小売業	15	79	6	9	33	57	10	↑23	(▲14)	30	70	0	↑30	(▲7)
その他産業	14	76	10	4	16	77	7	↑9	(▲5)	12	80	8	↓4	(▲5)
仕入価格	上昇 41	横ばい 56	低下 3	38	上昇 41	横ばい 57	低下 2	↑39	(▲1)	上昇 37	横ばい 59	低下 4	↓33	(▲6)
製造業	44	52	4	40	42	53	5	↓37	(▲3)	40	55	5	↓35	(▲2)
建設業	50	48	2	48	43	57	0	↓43	(▲5)	38	58	4	↓34	(▲9)
卸売業	43	51	6	37	37	60	3	↓34	(▲3)	28	64	8	↓20	(▲14)
小売業	31	63	6	25	38	60	2	↑36	(▲11)	28	70	2	↓26	(▲10)
その他産業	38	62	0	38	43	57	0	↑43	(▲5)	41	57	2	↓39	(▲4)
資金繰り	楽 10	普通 80	窮屈 10	0	楽 10	普通 78	窮屈 12	↓▲2	(▲2)	楽 8	普通 80	窮屈 12	↓▲4	(▲2)
製造業	13	77	10	3	10	75	15	↓▲5	(▲8)	9	75	16	↓▲7	(▲2)
建設業	17	77	6	11	11	83	6	↓5	(▲6)	9	82	9	↓0	(▲5)
卸売業	3	87	10	▲7	8	87	5	↑3	(▲10)	0	95	5	↓▲5	(▲8)
小売業	10	79	11	▲1	6	86	8	↓▲2	(▲1)	6	86	8	-▲2	(▲0)
その他産業	7	80	13	▲6	12	73	15	↑▲3	(▲3)	11	75	14	-▲3	(▲0)
雇用人員	過剰 4	適正 50	不足 46	▲42	過剰 3	適正 52	不足 45	-▲42	(▲0)	過剰 3	適正 53	不足 44	↑▲41	(▲1)
製造業	7	46	47	▲40	5	52	43	↑▲38	(▲2)	6	53	41	↑▲35	(▲3)
建設業	4	43	53	▲49	2	40	58	↓▲56	(▲7)	2	41	57	↑▲55	(▲1)
卸売業	5	55	40	▲35	0	66	34	↑▲34	(▲1)	0	68	32	↑▲32	(▲2)
小売業	2	49	49	▲47	2	45	53	↓▲51	(▲4)	0	48	52	↓▲52	(▲1)
その他産業	2	57	41	▲39	3	57	40	↑▲37	(▲2)	3	57	40	-▲37	(▲0)



図表2 業況D.I.(中分類)

	30年4~6月期		30年7~9月期		30年10~12月期	
	前期	今期実績	差(今期-前期)	来期見通し	差(来期-今期)	
<b>全業種</b>	▲ 7	▲ 8	▲ 1	▲ 6	2	
<b>製造業</b>	▲ 14	▲ 18	▲ 4	▲ 11	7	
食料品	▲ 32	▲ 35	▲ 3	▲ 11	24	
繊維	50	50	0	0	▲ 50	
木材	▲ 14	▲ 15	▲ 1	▲ 15	0	
紙・パルプ	▲ 100	0	100	0	0	
窯業・土石	▲ 11	▲ 33	▲ 22	▲ 11	22	
機械・金属	20	13	▲ 7	7	▲ 6	
電機・電子	0	14	14	▲ 15	▲ 29	
その他	▲ 15	▲ 37	▲ 22	▲ 37	0	
<b>建設業</b>	2	10	8	9	▲ 1	
土木	7	29	22	0	▲ 29	
建築	7	13	6	20	7	
総合建設	▲ 18	10	28	20	10	
その他	8	▲ 27	▲ 35	0	27	
<b>卸売業</b>	▲ 20	▲ 6	14	▲ 10	▲ 4	
食料品	▲ 7	0	7	0	0	
建設資材	▲ 9	13	22	0	▲ 13	
家電卸売	0	0	0	▲ 50	▲ 50	
その他	▲ 46	▲ 25	21	▲ 25	0	
<b>小売業</b>	▲ 9	▲ 9	0	2	11	
百貨店・スーパー	18	22	4	0	▲ 22	
衣料品	0	100	100	0	▲ 100	
自動車	▲ 36	▲ 30	6	▲ 10	20	
家電製品	33	▲ 33	▲ 66	0	33	
石油・ガス	▲ 13	▲ 13	0	▲ 13	0	
その他	▲ 16	▲ 11	5	16	27	
<b>その他産業</b>	0	▲ 9	▲ 9	▲ 11	▲ 2	
旅館・ホテル	15	20	5	7	▲ 13	
運輸・通信	0	▲ 40	▲ 40	▲ 35	5	
外食	20	0	▲ 20	▲ 29	▲ 29	
その他サービス	▲ 5	▲ 7	▲ 2	▲ 6	1	

図表3 売上・完工高D.I.(中分類)

	30年4~6月期		30年7~9月期		30年10~12月期	
	前期	今期実績	差(今期-前期)	来期見通し	差(来期-今期)	
<b>全業種</b>	▲ 2	▲ 2	0	1	3	
<b>製造業</b>	▲ 5	▲ 15	▲ 10	▲ 4	11	
食料品	▲ 15	▲ 32	▲ 17	▲ 10	22	
繊維	50	0	▲ 50	0	0	
木材	0	▲ 43	▲ 43	▲ 15	28	
紙・パルプ	▲ 100	100	200	0	▲ 100	
窯業・土石	▲ 23	▲ 45	▲ 22	0	45	
機械・金属	▲ 7	12	19	7	▲ 5	
電機・電子	40	36	▲ 4	14	▲ 22	
その他	▲ 29	▲ 13	16	▲ 24	▲ 11	
<b>建設業</b>	▲ 11	2	13	2	0	
土木	▲ 18	17	35	▲ 6	▲ 23	
建築	▲ 8	▲ 20	▲ 12	13	33	
総合建設	▲ 18	0	18	20	20	
その他	0	9	9	▲ 18	▲ 27	
<b>卸売業</b>	▲ 12	11	23	0	▲ 11	
食料品	▲ 6	32	38	19	▲ 13	
建設資材	18	13	▲ 5	13	0	
家電卸売	▲ 100	▲ 50	50	0	50	
その他	▲ 41	▲ 9	32	▲ 34	▲ 25	
<b>小売業</b>	11	3	▲ 8	17	14	
百貨店・スーパー	27	20	▲ 7	0	▲ 20	
衣料品	0	100	100	0	▲ 100	
自動車	10	0	▲ 10	30	30	
家電製品	0	▲ 67	▲ 67	33	100	
石油・ガス	38	24	▲ 14	37	13	
その他	▲ 6	▲ 5	1	10	15	
<b>その他産業</b>	5	5	0	▲ 2	▲ 7	
旅館・ホテル	16	27	11	8	▲ 19	
運輸・通信	17	20	3	15	▲ 5	
外食	20	0	▲ 20	▲ 29	▲ 29	
その他サービス	0	▲ 3	▲ 3	▲ 7	▲ 4	

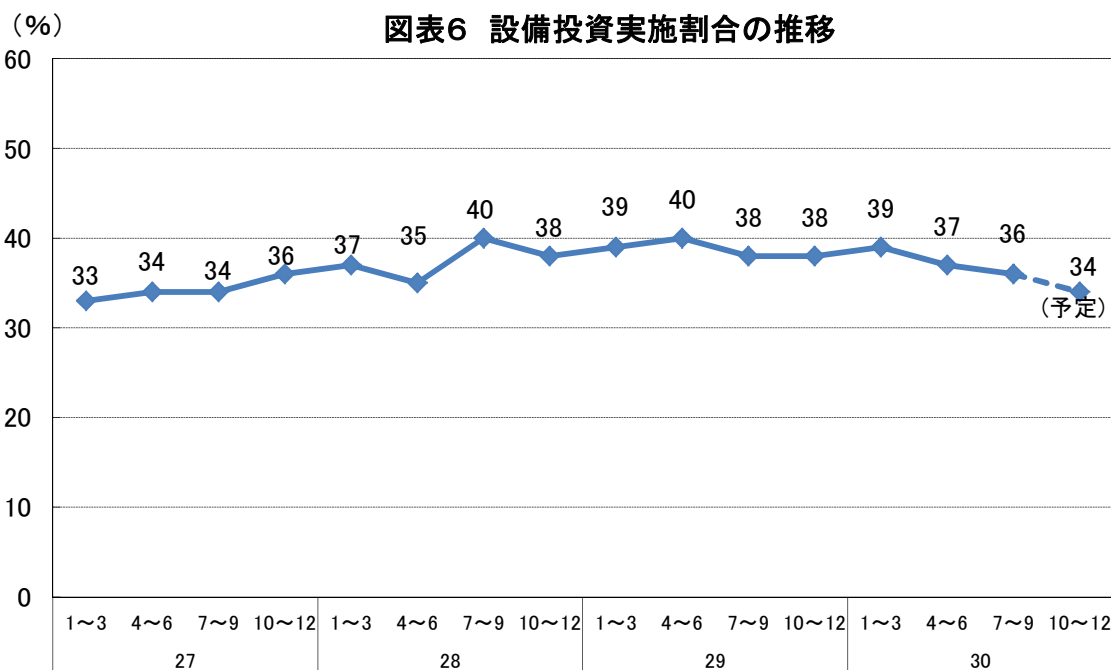
図表4 損益D.I.(中分類)

	30年4～6月期	30年7～9月期		30年10～12月期	
	前期	今期実績	差(今期-前期)	来期見通し	差(来期-今期)
<b>全業種</b>	▲ 10	▲ 12	▲ 2	▲ 10	2
<b>製造業</b>	▲ 22	▲ 20	2	▲ 15	5
食料品	▲ 35	▲ 32	3	▲ 11	21
繊維	50	50	0	0	▲ 50
木材	▲ 14	▲ 14	0	▲ 14	0
紙・パルプ	▲ 100	0	100	0	0
窯業・土石	▲ 44	▲ 56	▲ 12	▲ 33	23
機械・金属	0	7	7	▲ 7	▲ 14
電機・電子	8	0	▲ 8	▲ 24	▲ 24
その他	▲ 33	▲ 13	20	▲ 24	▲ 11
<b>建設業</b>	2	▲ 12	▲ 14	▲ 9	3
土木	0	0	0	▲ 17	▲ 17
建築	▲ 8	▲ 20	▲ 12	0	20
総合建設	9	▲ 20	▲ 29	▲ 10	10
その他	9	▲ 9	▲ 18	▲ 9	0
<b>卸売業</b>	▲ 15	0	15	▲ 16	▲ 16
食料品	0	18	18	0	▲ 18
建設資材	9	▲ 12	▲ 21	▲ 13	▲ 1
家電卸売	100	50	▲ 50	0	▲ 50
その他	▲ 61	▲ 27	34	▲ 42	▲ 15
<b>小売業</b>	1	▲ 1	▲ 2	1	2
百貨店・スーパー	27	20	▲ 7	▲ 30	▲ 50
衣料品	0	100	100	100	0
自動車	0	▲ 20	▲ 20	10	30
家電製品	50	▲ 34	▲ 84	33	67
石油・ガス	▲ 24	0	24	▲ 12	▲ 12
その他	▲ 5	▲ 6	▲ 1	10	16
<b>その他産業</b>	▲ 10	▲ 15	▲ 5	▲ 12	3
旅館・ホテル	▲ 8	0	8	0	0
運輸・通信	0	▲ 40	▲ 40	▲ 37	3
外食	▲ 20	▲ 15	5	▲ 43	▲ 28
その他サービス	▲ 14	▲ 10	4	▲ 5	5

図表5 資金繰りD.I.(中分類)

	30年4～6月期	30年7～9月期		30年10～12月期	
	前期	今期実績	差(今期-前期)	来期見通し	差(来期-今期)
<b>全業種</b>	0	▲ 2	▲ 2	▲ 4	▲ 2
<b>製造業</b>	3	▲ 5	2	▲ 7	▲ 2
食料品	2	0	▲ 2	▲ 4	▲ 4
繊維	50	0	▲ 50	0	0
木材	0	0	0	0	0
紙・パルプ	0	0	0	0	0
窯業・土石	0	▲ 22	▲ 22	▲ 22	0
機械・金属	0	0	0	0	0
電機・電子	16	0	▲ 16	▲ 8	▲ 8
その他	▲ 14	▲ 38	▲ 24	▲ 25	13
<b>建設業</b>	11	5	▲ 6	0	▲ 5
土木	7	12	5	6	▲ 6
建築	21	7	▲ 14	7	0
総合建設	▲ 9	▲ 10	▲ 1	▲ 30	▲ 20
その他	25	9	▲ 16	9	0
<b>卸売業</b>	▲ 7	3	10	▲ 5	▲ 8
食料品	▲ 20	6	26	▲ 6	▲ 12
建設資材	0	0	0	0	0
家電卸売	100	50	▲ 50	0	▲ 50
その他	▲ 8	▲ 9	▲ 1	▲ 8	1
<b>小売業</b>	▲ 1	▲ 2	▲ 1	▲ 2	0
百貨店・スーパー	▲ 9	10	19	10	0
衣料品	▲ 100	▲ 100	0	▲ 100	0
自動車	10	0	▲ 10	0	0
家電製品	34	0	▲ 34	0	0
石油・ガス	13	▲ 13	▲ 26	▲ 13	0
その他	▲ 6	0	6	0	0
<b>その他産業</b>	▲ 6	▲ 3	▲ 6	▲ 3	0
旅館・ホテル	▲ 7	14	21	22	8
運輸・通信	▲ 7	▲ 15	▲ 8	▲ 15	0
外食	▲ 20	0	20	▲ 43	▲ 43
その他サービス	▲ 6	▲ 4	2	▲ 4	0





**図表7 設備投資**

単位: %

		全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業	
30年7～9月 (今期実績)	実施した	36	39	30	24	41	39	
	投資目的	設備の維持・更新	71	71	56	67	67	78
		生産・販売能力増強	37	41	56	33	43	24
		省力化・合理化・省エネ	29	21	38	22	29	34
		新製品等の研究開発	6	19	0	0	0	0
		経営多角化	4	2	0	11	14	0
		その他	4	2	6	11	10	0
	実施しなかった	64	61	70	76	59	61	
30年10～12月 (来期見通し)	実施予定	34	45	23	16	35	36	
	投資目的	設備の維持・更新	75	77	58	67	83	75
		生産・販売能力増強	43	52	58	50	44	25
		省力化・合理化・省エネ	31	40	17	17	22	31
		新製品等の研究開発	6	13	0	0	0	3
		経営多角化	6	2	17	17	0	8
		その他	3	2	8	0	11	0
	実施予定なし	66	55	77	84	65	64	

(注) 計数は構成割合、投資目的は複数回答。

図表8 設備投資の合計金額(実額)

[今期] (単位：億円、%)

	全産業					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業	
今期(30年7～9月期)	157	78	3	8	29	40
前年同期(29年7～9月期)	102	40	7	1	12	42
今期増減率	53.9	95.0	▲ 57.1	700.0	141.7	▲ 4.8

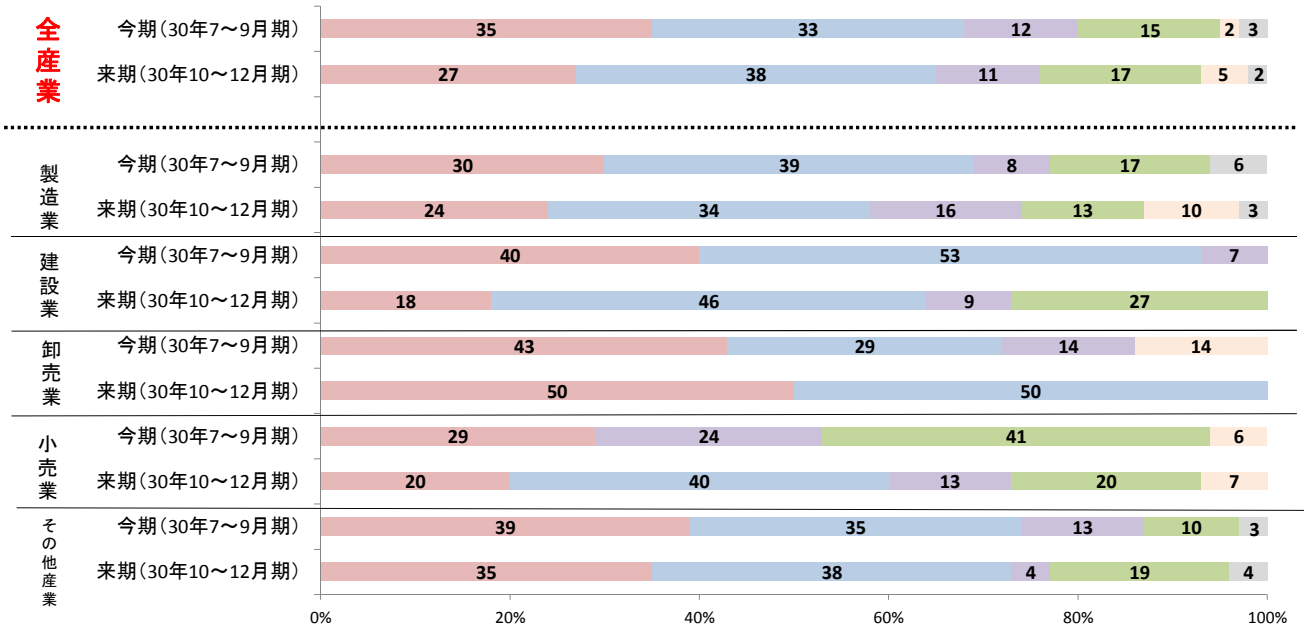
注) 回答企業の単純合計により算出している(図表9も同じ)。

[来期] (単位：億円、%)

	全産業					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業	
来期(30年10～12月期)	141	71	8	0	18	44
前年同期(30年10～12月期)	199	55	3	38	10	93
来期増減率	▲ 29.1	29.1	166.7	全減	80.0	▲ 52.7

図表9 1社当たり設備投資の金額別構成比

■ 1千万円未満 ■ 1～5千万円未満 ■ 5千万～1億円未満 ■ 1～5億円未満 ■ 5～10億円未満 ■ 10億円以上



※標本数

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
今期	105	35	15	7	17	31
来期	94	38	11	4	15	26

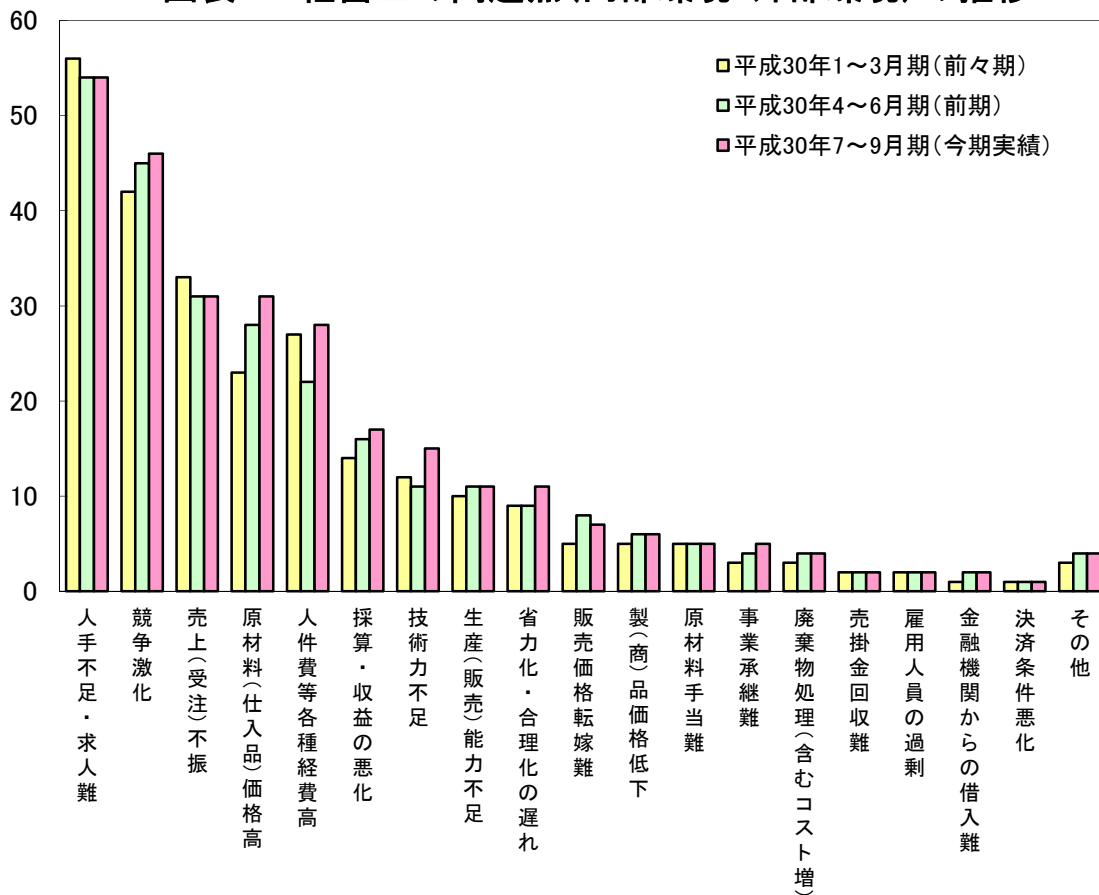
図表10 経営上の問題点(内部環境・外部環境)

単位: %

	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
人手不足・求人難	54	50	68	34	65	54
競争激化	46	30	55	40	71	48
売上(受注)不振	31	40	23	34	33	24
原材料(仕入品)価格高	31	43	26	23	15	32
人件費等各種経費高	28	27	11	20	38	35
採算・収益の悪化	17	20	9	23	15	17
技術力不足	15	14	21	6	19	13
生産(販売)能力不足	11	10	13	3	25	5
省力化・合理化の遅れ	11	15	9	3	10	10
販売価格転嫁難	7	5	4	14	8	7
製(商)品価格低下	6	10	4	6	4	2
原材料手当難	5	13	2	6	0	0
事業承継難	5	9	8	3	2	3
廃棄物処理(含むコスト増)	4	6	4	3	2	3
売掛金回収難	2	3	0	0	2	2
雇用人員の過剰	2	4	0	0	2	2
金融機関からの借入難	2	3	2	0	0	3
決済条件悪化	1	0	0	6	0	0
その他	4	1	4	9	4	5

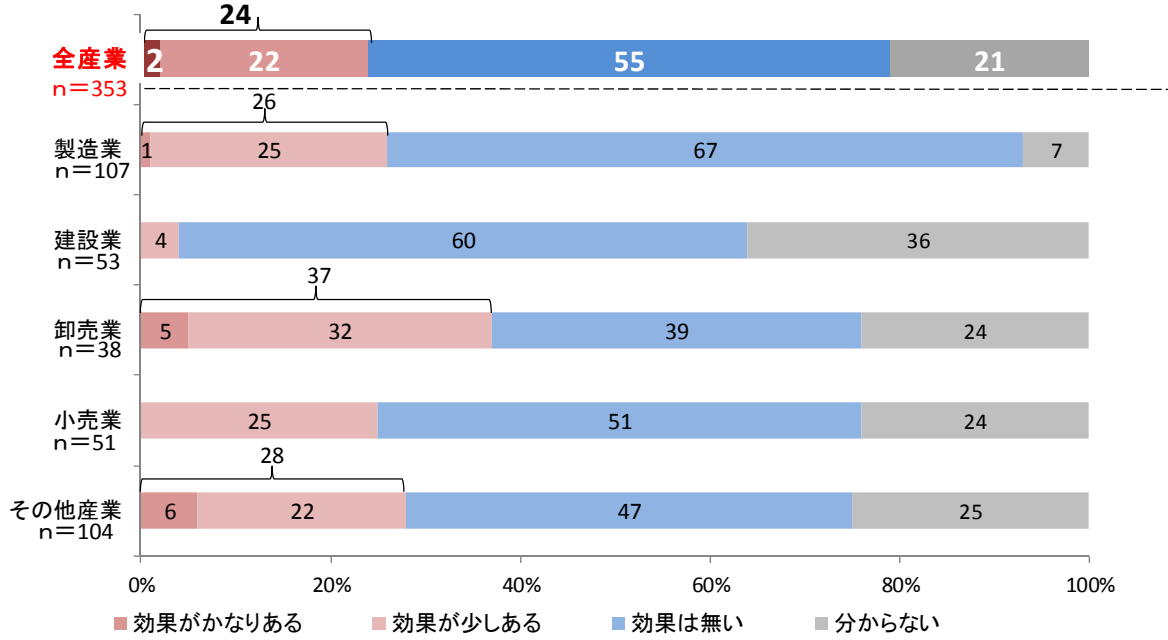
(注)複数回答

(%) 図表11 経営上の問題点(内部環境・外部環境)の推移

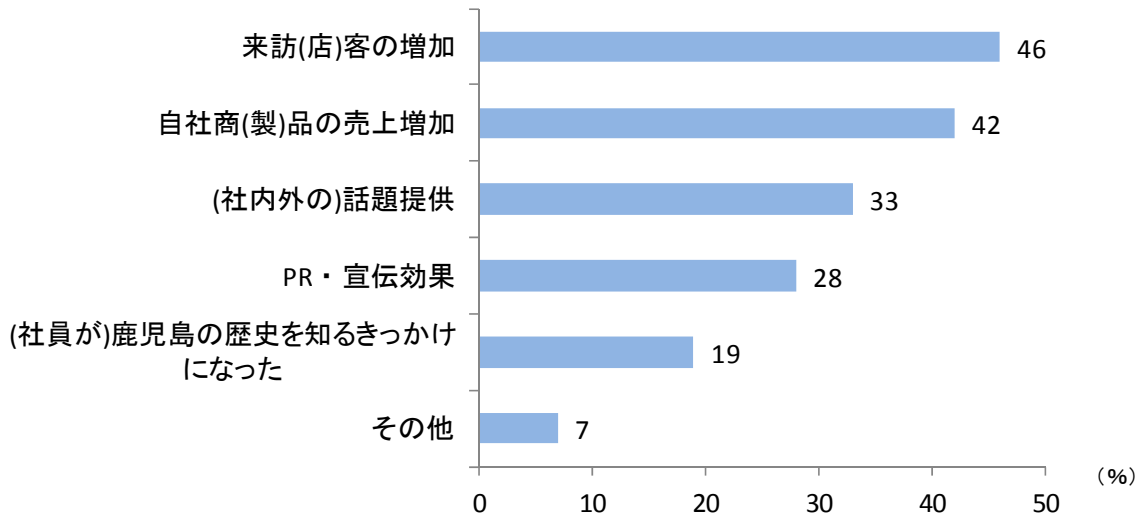


【NHK大河ドラマ「西郷（せご）どんについて】

図表 12 「西郷どん」放映による業績への効果



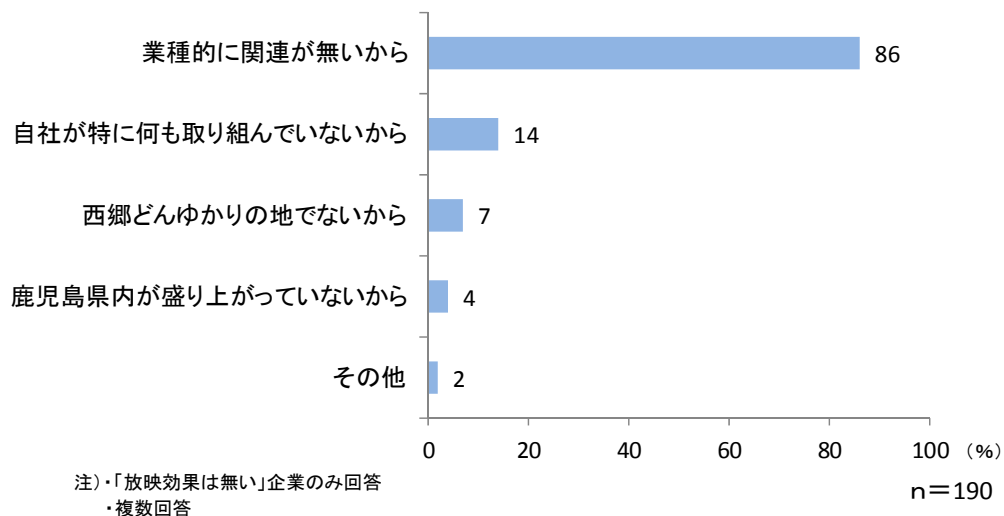
図表 13 どのような効果があったか



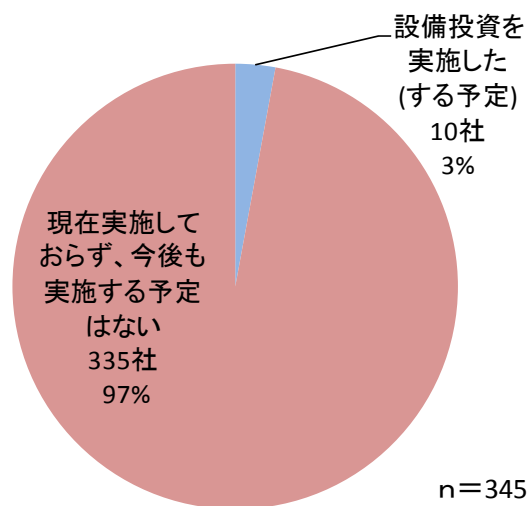
注)・「放映の効果がかなりある」「放映の効果が少しある」企業のみ回答  
 ・複数回答

n=83

図表 14 放映効果が無い理由

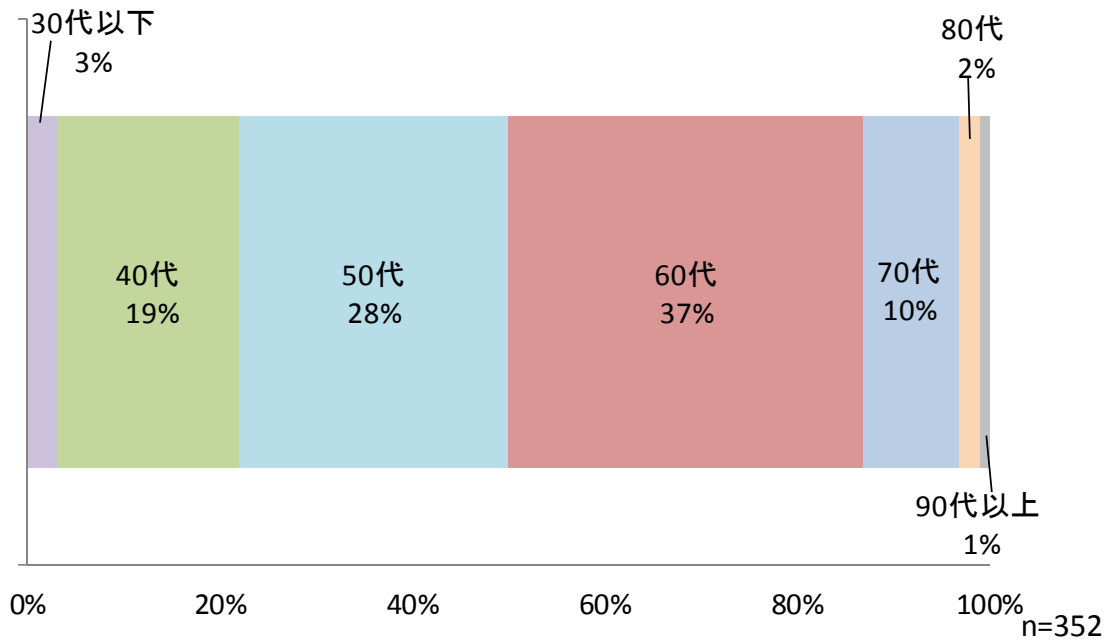


図表 15 西郷どん放映に関連した設備投資



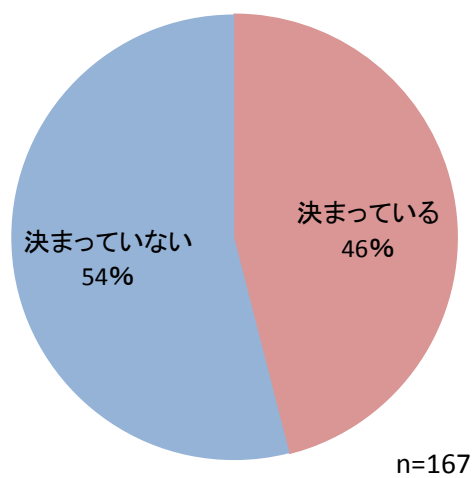
【事業承継について】

図表 16 経営者の年齢



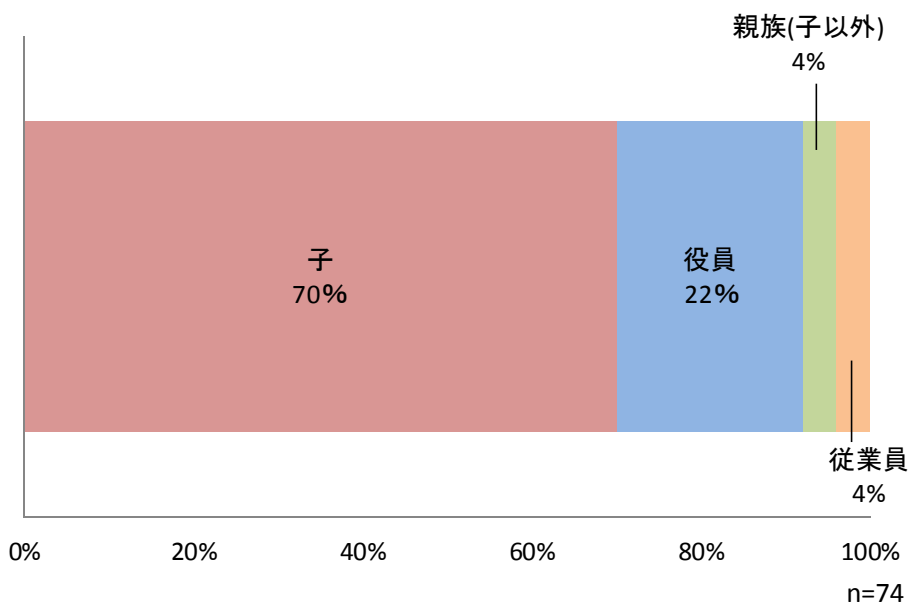
※以下、経営者の年齢が60代以上の企業に聞いた。図表 21 まで同じ。

図表 17 後継者が決まっているか



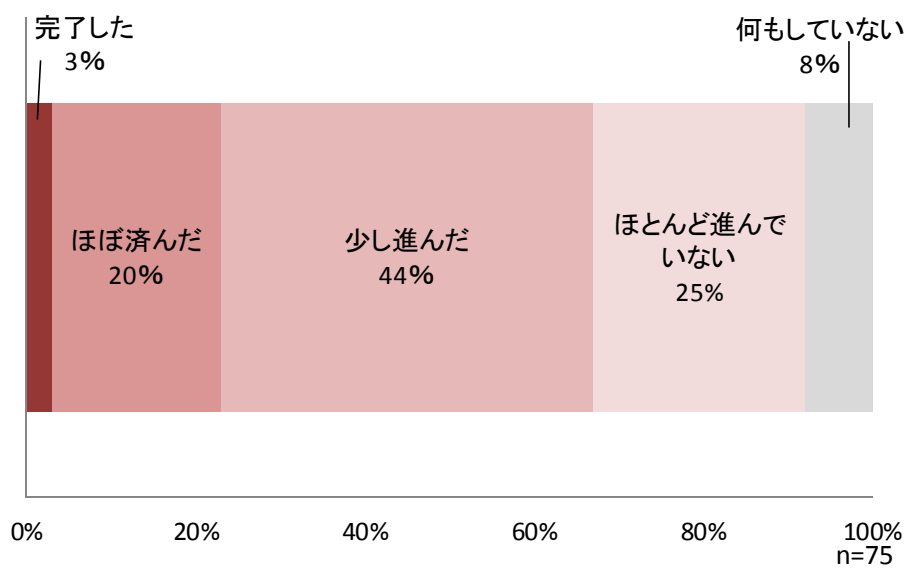


図表 18 後継者は誰か

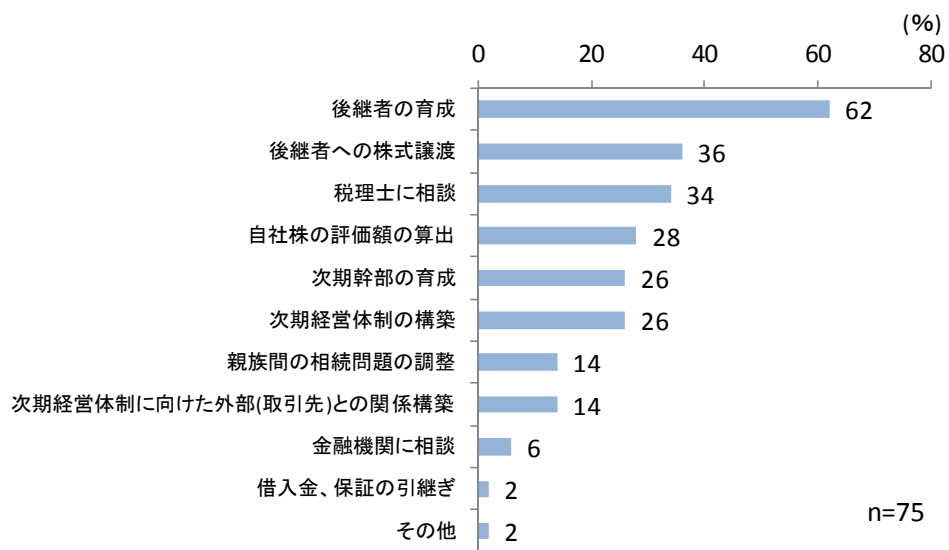


注)・「後継者が決まっている」企業のみ回答  
・図表19も同じ

図表 19 事業承継の進捗

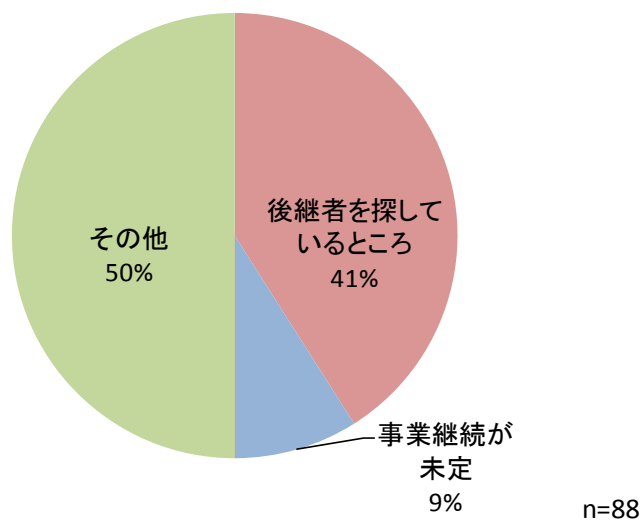


図表 20 事業承継の具体的な取り組み



注)・事業承継の進捗が「完了した」「ほぼ済んだ」「少し進んだ」企業のみ回答  
・複数回答

図表 21 後継者が決まっていない理由



注)・「後継者が決まっていない」企業のみ回答

## (参考)

### 回答率

	対象企業数	回答企業数	回答率(%)
<b>製造業</b>	<b>147</b>	<b>109</b>	<b>74.1</b>
食料品	77	51	66.2
繊維	3	2	66.7
木材	8	7	87.5
紙・パルプ	3	1	33.3
窯業・土石	12	9	75.0
機械・金属	19	17	89.5
電機・電子	15	14	93.3
その他	10	8	80.0
<b>非製造業計</b>	<b>353</b>	<b>247</b>	<b>70.0</b>
<b>建設業</b>	<b>75</b>	<b>53</b>	<b>70.7</b>
土木	21	17	81.0
建築	23	15	65.2
総合建設	15	10	66.7
その他	16	11	68.8
<b>卸売業</b>	<b>51</b>	<b>38</b>	<b>74.5</b>
食料品	21	16	76.2
建設資材	11	8	72.7
家電卸売	3	2	66.7
その他	16	12	75.0
<b>小売業</b>	<b>82</b>	<b>51</b>	<b>62.2</b>
百貨店・スーパー	19	10	52.6
衣料品	3	1	33.3
自動車	15	10	66.7
家電製品	4	3	75.0
石油・ガス	8	8	100.0
その他	33	19	57.6
<b>その他産業</b>	<b>145</b>	<b>105</b>	<b>72.4</b>
旅館・ホテル	22	15	68.2
運輸	30	20	66.7
外食	11	7	63.6
サービス	72	55	76.4
農林水産	10	8	80.0
<b>合計(製造+非製造)</b>	<b>500</b>	<b>356</b>	<b>71.2</b>

### 業況D. I. の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
19年	7~9	月期	▲ 38	▲ 45	▲ 31	▲ 41	▲ 51	▲ 19
	10~12	"	▲ 33	▲ 32	▲ 49	▲ 22	▲ 54	▲ 19
20年	1~3	"	▲ 34	▲ 26	▲ 49	▲ 32	▲ 52	▲ 26
	4~6	"	▲ 46	▲ 45	▲ 66	▲ 42	▲ 63	▲ 29
	7~9	"	▲ 51	▲ 42	▲ 68	▲ 56	▲ 74	▲ 38
	10~12	"	▲ 51	▲ 42	▲ 66	▲ 48	▲ 76	▲ 39
21年	1~3	"	▲ 53	▲ 48	▲ 63	▲ 38	▲ 71	▲ 45
	4~6	"	▲ 56	▲ 59	▲ 65	▲ 42	▲ 63	▲ 48
	7~9	"	▲ 46	▲ 45	▲ 53	▲ 38	▲ 42	▲ 49
	10~12	"	▲ 43	▲ 33	▲ 45	▲ 56	▲ 50	▲ 43
22年	1~3	"	▲ 36	▲ 29	▲ 43	▲ 37	▲ 35	▲ 38
	4~6	"	▲ 40	▲ 30	▲ 46	▲ 48	▲ 46	▲ 41
	7~9	"	▲ 42	▲ 41	▲ 59	▲ 42	▲ 39	▲ 41
	10~12	"	▲ 34	▲ 23	▲ 46	▲ 31	▲ 50	▲ 32
23年	1~3	"	▲ 31	▲ 30	▲ 33	▲ 21	▲ 30	▲ 37
	4~6	"	▲ 29	▲ 22	▲ 44	▲ 55	▲ 25	▲ 17
	7~9	"	▲ 30	▲ 29	▲ 41	▲ 31	▲ 46	▲ 19
	10~12	"	▲ 20	▲ 19	▲ 36	▲ 21	▲ 37	▲ 3
24年	1~3	"	▲ 19	▲ 23	▲ 25	▲ 14	▲ 32	▲ 9
	4~6	"	▲ 25	▲ 22	▲ 45	▲ 20	▲ 42	▲ 13
	7~9	"	▲ 28	▲ 32	▲ 26	▲ 28	▲ 31	▲ 26
	10~12	"	▲ 23	▲ 23	▲ 20	▲ 13	▲ 40	▲ 20
25年	1~3	"	▲ 21	▲ 34	▲ 4	▲ 29	▲ 21	▲ 15
	4~6	"	▲ 16	▲ 27	▲ 6	▲ 17	▲ 31	▲ 3
	7~9	"	▲ 10	▲ 20	▲ 4	▲ 7	▲ 15	▲ 7
	10~12	"	▲ 4	▲ 14	▲ 21	▲ 0	▲ 9	▲ 4
26年	1~3	"	▲ 7	▲ 4	▲ 32	▲ 7	▲ 10	▲ 1
	4~6	"	▲ 15	▲ 17	▲ 14	▲ 25	▲ 37	▲ 1
	7~9	"	▲ 14	▲ 20	▲ 1	▲ 17	▲ 31	▲ 9
	10~12	"	▲ 10	▲ 9	▲ 11	▲ 30	▲ 35	▲ 2
27年	1~3	"	▲ 13	▲ 16	▲ 3	▲ 24	▲ 23	▲ 11
	4~6	"	▲ 20	▲ 29	▲ 17	▲ 25	▲ 37	▲ 7
	7~9	"	▲ 17	▲ 25	▲ 17	▲ 5	▲ 24	▲ 12
	10~12	"	▲ 10	▲ 16	▲ 2	▲ 15	▲ 24	▲ 1
28年	1~3	"	▲ 7	▲ 17	▲ 6	▲ 24	▲ 16	▲ 5
	4~6	"	▲ 18	▲ 25	▲ 4	▲ 5	▲ 17	▲ 28
	7~9	"	▲ 11	▲ 19	▲ 6	▲ 9	▲ 31	▲ 5
	10~12	"	▲ 10	▲ 6	▲ 4	▲ 12	▲ 13	▲ 11
29年	1~3	"	▲ 10	▲ 25	▲ 15	▲ 7	▲ 17	▲ 5
	4~6	"	▲ 4	▲ 16	▲ 10	▲ 5	▲ 6	▲ 1
	7~9	"	▲ 2	▲ 7	▲ 8	▲ 16	▲ 5	▲ 1
	10~12	"	▲ 1	▲ 6	▲ 6	▲ 10	▲ 12	▲ 3
30年	1~3	"	▲ 3	▲ 8	▲ 0	▲ 2	▲ 1	▲ 4
	4~6	"	▲ 7	▲ 14	▲ 2	▲ 20	▲ 9	▲ 0
	7~9	"	▲ 8	▲ 18	▲ 10	▲ 6	▲ 9	▲ 9
	10~12	月期見通し	▲ 6	▲ 11	▲ 9	▲ 10	▲ 2	▲ 11

(注)D. I. =「良い」-「悪い」

売上・完工高D. I. の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
19年	7~9	月期	▲ 27	▲ 31	▲ 34	▲ 35	▲ 28	▲ 14
	10~12	"	▲ 23	▲ 8	▲ 45	▲ 22	▲ 50	▲ 13
20年	1~3	"	▲ 24	▲ 10	▲ 32	▲ 20	▲ 45	▲ 27
	4~6	"	▲ 27	▲ 15	▲ 49	▲ 27	▲ 44	▲ 22
	7~9	"	▲ 35	▲ 23	▲ 50	▲ 38	▲ 50	▲ 28
	10~12	"	▲ 36	▲ 28	▲ 46	▲ 29	▲ 59	▲ 27
21年	1~3	"	▲ 50	▲ 44	▲ 40	▲ 38	▲ 74	▲ 50
	4~6	"	▲ 55	▲ 53	▲ 56	▲ 52	▲ 69	▲ 50
	7~9	"	▲ 49	▲ 53	▲ 36	▲ 38	▲ 57	▲ 50
	10~12	"	▲ 47	▲ 39	▲ 38	▲ 65	▲ 49	▲ 53
22年	1~3	"	▲ 31	▲ 20	▲ 37	▲ 39	▲ 35	▲ 36
	4~6	"	▲ 28	▲ 23	▲ 30	▲ 8	▲ 36	▲ 35
	7~9	"	▲ 30	▲ 26	▲ 38	▲ 19	▲ 31	▲ 33
	10~12	"	▲ 24	▲ 25	▲ 41	▲ 5	▲ 41	▲ 14
23年	1~3	"	▲ 26	▲ 26	▲ 31	▲ 23	▲ 22	▲ 25
	4~6	"	▲ 21	▲ 9	▲ 31	▲ 49	▲ 25	▲ 15
	7~9	"	▲ 23	▲ 27	▲ 29	▲ 23	▲ 46	▲ 7
	10~12	"	▲ 10	▲ 10	▲ 30	▲ 10	▲ 14	▲ 3
24年	1~3	"	▲ 8	▲ 18	▲ 17	▲ 13	▲ 17	▲ 4
	4~6	"	▲ 16	▲ 12	▲ 25	▲ 3	▲ 34	▲ 9
	7~9	"	▲ 15	▲ 14	▲ 26	▲ 0	▲ 15	▲ 19
	10~12	"	▲ 14	▲ 16	▲ 5	▲ 0	▲ 27	▲ 16
25年	1~3	"	▲ 16	▲ 25	▲ 6	▲ 30	▲ 12	▲ 14
	4~6	"	▲ 4	▲ 12	▲ 2	▲ 0	▲ 11	▲ 3
	7~9	"	▲ 2	▲ 14	▲ 23	▲ 3	▲ 7	▲ 7
	10~12	"	▲ 11	▲ 6	▲ 34	▲ 18	▲ 16	▲ 10
26年	1~3	"	▲ 23	▲ 6	▲ 50	▲ 22	▲ 45	▲ 15
	4~6	"	▲ 5	▲ 15	▲ 6	▲ 12	▲ 20	▲ 8
	7~9	"	▲ 9	▲ 16	▲ 0	▲ 20	▲ 13	▲ 3
	10~12	"	▲ 12	▲ 17	▲ 2	▲ 34	▲ 27	▲ 0
27年	1~3	"	▲ 20	▲ 31	▲ 19	▲ 37	▲ 31	▲ 20
	4~6	"	▲ 24	▲ 35	▲ 16	▲ 34	▲ 16	▲ 14
	7~9	"	▲ 15	▲ 27	▲ 25	▲ 2	▲ 10	▲ 7
	10~12	"	▲ 8	▲ 20	▲ 11	▲ 4	▲ 10	▲ 3
28年	1~3	"	▲ 10	▲ 27	▲ 5	▲ 21	▲ 17	▲ 5
	4~6	"	▲ 24	▲ 25	▲ 10	▲ 26	▲ 33	▲ 25
	7~9	"	▲ 12	▲ 19	▲ 5	▲ 26	▲ 37	▲ 5
	10~12	"	▲ 7	▲ 11	▲ 1	▲ 2	▲ 3	▲ 10
29年	1~3	"	▲ 2	▲ 22	▲ 20	▲ 5	▲ 9	▲ 1
	4~6	"	▲ 6	▲ 7	▲ 5	▲ 0	▲ 11	▲ 19
	7~9	"	▲ 2	▲ 9	▲ 12	▲ 20	▲ 25	▲ 6
	10~12	"	▲ 4	▲ 3	▲ 2	▲ 2	▲ 11	▲ 4
30年	1~3	"	▲ 8	▲ 0	▲ 9	▲ 8	▲ 24	▲ 7
	4~6	"	▲ 2	▲ 5	▲ 11	▲ 12	▲ 11	▲ 5
	7~9	"	▲ 2	▲ 15	▲ 2	▲ 11	▲ 3	▲ 5
	10~12	月期見通し	▲ 1	▲ 4	▲ 2	▲ 0	▲ 17	▲ 2

(注)D. I. =「増加」-「減少」

損益D. I. の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
19年	7~9	月期	▲ 24	▲ 29	▲ 27	▲ 25	▲ 28	▲ 13
	10~12	"	▲ 31	▲ 31	▲ 38	▲ 21	▲ 58	▲ 13
20年	1~3	"	▲ 29	▲ 25	▲ 36	▲ 29	▲ 40	▲ 23
	4~6	"	▲ 33	▲ 33	▲ 51	▲ 12	▲ 50	▲ 26
	7~9	"	▲ 39	▲ 35	▲ 55	▲ 28	▲ 48	▲ 35
	10~12	"	▲ 46	▲ 37	▲ 67	▲ 41	▲ 53	▲ 42
21年	1~3	"	▲ 41	▲ 41	▲ 51	▲ 23	▲ 53	▲ 31
	4~6	"	▲ 38	▲ 42	▲ 50	▲ 26	▲ 33	▲ 35
	7~9	"	▲ 26	▲ 28	▲ 39	▲ 23	▲ 15	▲ 21
	10~12	"	▲ 26	▲ 18	▲ 30	▲ 32	▲ 15	▲ 35
22年	1~3	"	▲ 20	▲ 11	▲ 32	▲ 20	▲ 17	▲ 27
	4~6	"	▲ 20	▲ 17	▲ 20	3	▲ 25	▲ 32
	7~9	"	▲ 22	▲ 19	▲ 30	▲ 17	▲ 21	▲ 27
	10~12	"	▲ 22	▲ 18	▲ 46	▲ 13	▲ 36	▲ 10
23年	1~3	"	▲ 24	▲ 19	▲ 29	▲ 26	▲ 17	▲ 29
	4~6	"	▲ 15	▲ 8	▲ 31	▲ 34	▲ 12	▲ 10
	7~9	"	▲ 24	▲ 24	▲ 28	▲ 30	▲ 40	▲ 11
	10~12	"	▲ 10	▲ 17	▲ 19	▲ 8	▲ 17	6
24年	1~3	"	▲ 14	▲ 24	▲ 20	0	▲ 19	2
	4~6	"	▲ 16	▲ 15	▲ 33	▲ 7	▲ 12	▲ 16
	7~9	"	▲ 17	▲ 16	▲ 21	▲ 16	▲ 10	▲ 21
	10~12	"	▲ 15	▲ 20	▲ 9	▲ 8	▲ 19	▲ 15
25年	1~3	"	▲ 16	▲ 27	▲ 4	▲ 35	▲ 12	▲ 7
	4~6	"	▲ 9	▲ 18	▲ 10	▲ 9	▲ 14	3
	7~9	"	▲ 5	▲ 9	4	5	▲ 17	▲ 6
	10~12	"	1	▲ 6	16	3	0	1
26年	1~3	"	12	1	43	19	5	7
	4~6	"	▲ 5	▲ 1	8	▲ 15	▲ 31	1
	7~9	"	▲ 11	▲ 11	5	▲ 32	▲ 17	▲ 11
	10~12	"	▲ 11	▲ 10	▲ 6	▲ 28	▲ 25	0
27年	1~3	"	▲ 14	▲ 27	13	▲ 23	▲ 16	▲ 14
	4~6	"	▲ 19	▲ 34	▲ 15	▲ 13	▲ 18	▲ 7
	7~9	"	▲ 13	▲ 25	▲ 24	3	▲ 6	▲ 3
	10~12	"	▲ 4	▲ 11	▲ 2	▲ 11	▲ 5	5
28年	1~3	"	▲ 4	▲ 19	10	▲ 19	▲ 5	5
	4~6	"	▲ 14	▲ 21	7	▲ 13	▲ 19	▲ 19
	7~9	"	▲ 8	▲ 16	2	▲ 7	▲ 16	▲ 3
	10~12	"	▲ 8	▲ 7	▲ 7	▲ 4	▲ 1	▲ 18
29年	1~3	"	▲ 4	▲ 9	17	▲ 4	▲ 15	▲ 8
	4~6	"	2	▲ 5	12	▲ 3	▲ 11	12
	7~9	"	▲ 1	▲ 4	7	▲ 9	▲ 5	▲ 2
	10~12	"	▲ 5	▲ 15	▲ 6	▲ 4	▲ 9	1
30年	1~3	"	▲ 3	▲ 1	0	▲ 3	▲ 10	▲ 12
	4~6	"	▲ 10	▲ 22	2	▲ 15	▲ 1	▲ 10
	7~9	"	▲ 12	▲ 20	▲ 12	0	▲ 1	▲ 15
	10~12	月期見通し	▲ 10	▲ 15	▲ 9	▲ 16	▲ 1	▲ 12

(注)D. I. =「好転」-「悪化」



資金繰りD. I. の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
19年	7~9	月期	▲ 13	▲ 13	▲ 5	▲ 14	▲ 24	▲ 11
	10~12	"	▲ 16	▲ 12	▲ 19	▲ 5	▲ 35	▲ 9
20年	1~3	"	▲ 18	▲ 14	▲ 23	▲ 8	▲ 25	▲ 17
	4~6	"	▲ 20	▲ 16	▲ 25	▲ 22	▲ 34	▲ 14
	7~9	"	▲ 26	▲ 20	▲ 27	▲ 23	▲ 46	▲ 18
	10~12	"	▲ 24	▲ 22	▲ 31	▲ 20	▲ 33	▲ 18
21年	1~3	"	▲ 21	▲ 24	▲ 8	▲ 14	▲ 39	▲ 17
	4~6	"	▲ 23	▲ 22	▲ 22	▲ 19	▲ 36	▲ 15
	7~9	"	▲ 17	▲ 14	▲ 15	▲ 9	▲ 28	▲ 17
	10~12	"	▲ 17	▲ 12	▲ 12	▲ 15	▲ 29	▲ 20
22年	1~3	"	▲ 16	▲ 7	▲ 19	▲ 10	▲ 34	▲ 15
	4~6	"	▲ 11	▲ 2	▲ 10	▲ 2	▲ 38	▲ 11
	7~9	"	▲ 12	▲ 6	▲ 12	▲ 5	▲ 27	▲ 14
	10~12	"	▲ 9	▲ 5	▲ 5	▲ 10	▲ 25	▲ 7
23年	1~3	"	▲ 13	▲ 2	▲ 23	▲ 5	▲ 20	▲ 19
	4~6	"	▲ 7	▲ 2	▲ 9	▲ 6	▲ 20	▲ 9
	7~9	"	▲ 9	▲ 4	▲ 8	▲ 10	▲ 23	▲ 6
	10~12	"	▲ 10	▲ 10	▲ 16	▲ 7	▲ 20	▲ 2
24年	1~3	"	▲ 10	▲ 8	▲ 9	▲ 3	▲ 22	▲ 7
	4~6	"	▲ 12	▲ 8	▲ 14	▲ 8	▲ 25	▲ 7
	7~9	"	▲ 9	▲ 10	▲ 6	▲ 0	▲ 18	▲ 7
	10~12	"	▲ 10	▲ 9	▲ 13	▲ 2	▲ 24	▲ 8
25年	1~3	"	▲ 13	▲ 12	▲ 15	▲ 15	▲ 16	▲ 10
	4~6	"	▲ 6	▲ 7	▲ 3	▲ 5	▲ 20	▲ 6
	7~9	"	▲ 8	▲ 4	▲ 7	▲ 2	▲ 13	▲ 11
	10~12	"	▲ 6	▲ 8	▲ 3	▲ 2	▲ 13	▲ 1
26年	1~3	"	▲ 1	▲ 3	▲ 5	▲ 0	▲ 5	▲ 2
	4~6	"	▲ 2	▲ 2	▲ 1	▲ 4	▲ 9	▲ 2
	7~9	"	▲ 5	▲ 6	▲ 7	▲ 4	▲ 18	▲ 4
	10~12	"	▲ 7	▲ 10	▲ 2	▲ 5	▲ 13	▲ 3
27年	1~3	"	▲ 5	▲ 6	▲ 2	▲ 2	▲ 9	▲ 7
	4~6	"	▲ 5	▲ 10	▲ 0	▲ 3	▲ 11	▲ 2
	7~9	"	▲ 5	▲ 13	▲ 3	▲ 2	▲ 11	▲ 0
	10~12	"	▲ 7	▲ 15	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 7
28年	1~3	"	▲ 3	▲ 7	▲ 4	▲ 2	▲ 11	▲ 1
	4~6	"	▲ 5	▲ 7	▲ 8	▲ 5	▲ 12	▲ 12
	7~9	"	▲ 0	▲ 0	▲ 7	▲ 3	▲ 4	▲ 2
	10~12	"	▲ 2	▲ 5	▲ 4	▲ 2	▲ 8	▲ 1
29年	1~3	"	▲ 1	▲ 2	▲ 4	▲ 0	▲ 3	▲ 3
	4~6	"	▲ 1	▲ 1	▲ 20	▲ 5	▲ 6	▲ 3
	7~9	"	▲ 0	▲ 2	▲ 10	▲ 4	▲ 2	▲ 1
	10~12	"	▲ 1	▲ 3	▲ 0	▲ 7	▲ 4	▲ 4
30年	1~3	"	▲ 2	▲ 1	▲ 7	▲ 0	▲ 0	▲ 0
	4~6	"	▲ 0	▲ 3	▲ 11	▲ 7	▲ 1	▲ 6
	7~9	"	▲ 2	▲ 5	▲ 5	▲ 3	▲ 2	▲ 3
	10~12	月期見通し	▲ 4	▲ 7	▲ 0	▲ 5	▲ 2	▲ 3

(注)D. I. =「楽」-「窮屈」

### 設備投資実施割合の推移

単位：%

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
19年	7～9	月期	42	46	24	38	40	49
	10～12	〃	44	58	25	24	42	48
20年	1～3	〃	40	50	14	37	38	44
	4～6	〃	38	45	11	27	42	45
	7～9	〃	43	52	22	33	40	47
	10～12	〃	39	49	17	26	29	48
21年	1～3	〃	39	55	21	29	32	37
	4～6	〃	32	38	14	26	29	37
	7～9	〃	34	42	13	25	28	41
	10～12	〃	31	40	13	21	27	34
22年	1～3	〃	32	43	14	18	27	34
	4～6	〃	29	46	16	18	15	28
	7～9	〃	32	48	26	23	17	29
	10～12	〃	33	35	27	28	19	43
23年	1～3	〃	32	45	12	23	27	35
	4～6	〃	29	35	13	18	21	38
	7～9	〃	33	30	22	43	27	41
	10～12	〃	32	35	23	18	23	42
24年	1～3	〃	27	30	10	32	27	29
	4～6	〃	31	41	18	18	24	36
	7～9	〃	37	45	23	26	30	45
	10～12	〃	36	42	24	24	34	43
25年	1～3	〃	35	44	24	26	37	35
	4～6	〃	31	40	24	22	23	34
	7～9	〃	36	44	28	29	32	38
	10～12	〃	34	39	16	28	36	40
26年	1～3	〃	36	43	34	25	44	32
	4～6	〃	32	35	27	20	31	36
	7～9	〃	34	39	21	17	34	41
	10～12	〃	35	44	17	20	36	41
27年	1～3	〃	33	40	28	21	26	39
	4～6	〃	34	38	25	26	29	41
	7～9	〃	34	37	18	15	39	44
	10～12	〃	36	39	28	26	38	42
28年	1～3	〃	37	42	23	32	43	40
	4～6	〃	35	41	28	23	28	41
	7～9	〃	40	42	31	30	48	44
	10～12	〃	38	45	23	27	35	45
29年	1～3	〃	39	46	31	20	44	42
	4～6	〃	40	42	26	38	34	48
	7～9	〃	38	42	30	32	33	43
	10～12	〃	38	44	29	28	40	39
30年	1～3	〃	39	51	25	24	40	39
	4～6	〃	37	40	35	32	38	37
	7～9	〃	36	39	30	24	41	39
	10～12	月期見通し	34	45	23	16	35	36

(注)D. I. =「実施」-「実施しない」

雇用人員D. I. の推移

単位：%

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
19年	7~9	月期						
	10~12	〃						
20年	1~3	〃						
	4~6	〃						
	7~9	〃						
	10~12	〃						
21年	1~3	〃						
	4~6	〃	12	18	18	18	2	4
	7~9	〃	8	10	21	18	1▲	2
	10~12	〃	6	5	5	15	3	5
22年	1~3	〃	3	7	0	8▲	2	0
	4~6	〃	8	14	20	8	9▲	3
	7~9	〃	7	13	4	17▲	2▲	3
	10~12	〃	▲1	7	▲16	20▲	9▲	6
23年	1~3	〃	▲3	3▲	15	11▲	12▲	4
	4~6	〃	3	6	19	8	0▲	9
	7~9	〃	▲2	9	8	5▲	19▲	14
	10~12	〃	▲1	9	0▲	3	0▲	16
24年	1~3	〃	▲6	2▲	9	6▲	18▲	9
	4~6	〃	1	6	11	11▲	2▲	12
	7~9	〃	▲6	1▲	9	12▲	13▲	13
	10~12	〃	▲8	2▲	17	2▲	10▲	18
25年	1~3	〃	▲9	▲3	▲10	7▲	8▲	20
	4~6	〃	▲9	0▲	12▲	4▲	13▲	16
	7~9	〃	▲16	▲8	▲33	▲3	8▲	21
	10~12	〃	▲18	▲5	▲43	▲10	3▲	28
26年	1~3	〃	▲25	▲13	▲36	▲13	▲23	▲36
	4~6	〃	▲19	▲10	▲29	0▲	▲29	▲25
	7~9	〃	▲20	▲6	▲41	▲5	▲28	▲28
	10~12	〃	▲27	▲13	▲46	▲5	▲22	▲39
27年	1~3	〃	▲26	▲17	▲37	▲12	▲26	▲37
	4~6	〃	▲22	▲16	▲30	▲10	▲31	▲23
	7~9	〃	▲23	▲14	▲35	▲3	▲25	▲30
	10~12	〃	▲27	▲15	▲43	▲12	▲28	▲38
28年	1~3	〃	▲25	▲10	▲44	▲10	▲23	▲37
	4~6	〃	▲18	▲1	▲23	▲7	▲34	▲27
	7~9	〃	▲29	▲24	▲42	▲9	▲30	▲36
	10~12	〃	▲36	▲33	▲47	▲10	▲32	▲41
29年	1~3	〃	▲39	▲28	▲53	▲22	▲35	▲49
	4~6	〃	▲36	▲31	▲47	▲8	▲36	▲46
	7~9	〃	▲39	▲34	▲56	▲14	▲41	▲45
	10~12	〃	▲44	▲42	▲64	▲15	▲48	▲46
30年	1~3	〃	▲45	▲42	▲51	▲23	▲59	▲49
	4~6	〃	▲42	▲40	▲49	▲35	▲47	▲39
	7~9	〃	▲42	▲38	▲56	▲34	▲51	▲37
	10~12	月期見通し	▲41	▲35	▲55	▲32	▲52	▲37

(注)D. I. =「過剰」-「不足」

## 事業承継に関する主な意見

業 種	意 見	
製造業	食料品	経営がオーナー経営ではないため、事業承継には問題ない。
		顧問税理士か鹿銀ビジネスマッチングを利用させてもらうか検討中(既に両者から説明を受けている)。
		今のところは心配はないが、15年後の後継者育成を検討している。
	木材	(事業承継について)個人の保証問題がネックになる。
	機械・金属	後継者は血族ではなく、社員の中から優秀な者を指名する。
		顧問税理士等の助言で取組実施中。
		ようやく中小企業の継承がスムーズにという政府の動きが出てきたが、まだ足りない。実際、後継がないことで廃業される加工業者も多く、M&Aも含めた継承をもっと負担が少なくなれば…と感じる。
電機・電子	親会社に吸収合併され、事業を継承中。	
その他	(事業承継について)考える時間がない。	
建設業	土木	弊社もサラリーマン社長なので、オーナー企業と違うと考える。
	建築	自社の方向性を検討中なので外部に述べるような(事業承継について)まとめた意見は現段階ではない。
		(後継者について)経営能力のある人に決める。
	総合建設	後継者がいないことで、事業承継が課題である。
その他建設	従来受注していた会社が廃業して、業界の受注形態に変化が出ている。	
卸売業	食料品卸売	経営者が直接行っているため詳細については分からない。
	家電	色々な業務引き継ぎ等は少しずつ実施はしているものの、グループ企業としては、株主総会後でないといとも申し上げられないところがある。
小売業	百貨店・スーパー	期日は未定ながらグループ企業再編等があり、(事業承継は)親会社の意向で決まるため何も言えない。
	自動車	後継者はいるが、いい形での(事業)承継を目指す。
		(事業承継については)金融機関に相談中である。
	その他	後継者は決めたものの、経験不足なので危機管理で不安がある。
		(事業承継おいて)人材育成は当社でも大きな課題。
		後継者・株式など時間をかけて取組む必要がある。
	運輸・通信	(後継者は)10年後に決定して引き継げるよう考えていきたい。
	外食産業	(事業)承継を継続中。
	サービス	(事業承継について)グループの判断になると思う。
創業者以来、親族で行っている。これから鹿児島を含めた地方の大小問わず、(事業)継承問題はこれから増加していくだろう。各事業・会社をその地域から消すことのないためにも、地域全体で考えていく事も必要だと思う。		
事業承継は順調に進展している。		
農林水産	事業承継を常に意識し、税理士等との意見交換を行っている。	

## 最近の業況、西郷どん等に関する主な意見

業種	意見	
製造業	西郷どんについては鹿児島出身の俳優にもっとスポットが当たれば良いと思う。	
	海外からの観光客の取り込みも強化を図りたい。	
	若い人が焼酎を飲まなくなってきたり、消費量が減っている。	
	焼酎業界は、ハイボールや酎ハイに押され厳しい状況が続いており、中々明るい兆しが見えない。	
	郷土の偉人の一人として誇りに思い、維新改革に多大なる貢献と藩政改革ともいえる財政経済政策の基礎をつくった…。今後も楽しみに期待している。	
	西郷関連商品は期待以上に伸びた。しかし、全体では期待していた程の伸びは感じられていない。	
	(西郷どんについて)他県の方には言葉が分かりづらいと思う。	
	大河ドラマ館に自社商品を納品させていただいている。売上増加に繋がったことがありがたい。	
	大河ドラマと明治維新150年が重なり、結果としてどっち付かずになった。熊本(くまもん)、宮崎(東国原)のように県内一斉、全統一で行った方が全体のボリュームでもっと賑わったのではないかと感じている。	
	県外からの取引先からも面白いと好評の声を聞いている。何年か後、次の鹿児島県の大河ドラマは何があるかなと心配もある。	
	以前の大河ドラマに比べると盛り上がりには欠けるが、それでも観光客は来ているような気がする。	
	お土産物関連で菓子材料の粉の需要が上がるかと思われたが、あまり影響は感じない。	
	鹿児島県から発信を行ない業界を活性化できるようなイベントには出来るだけ便乗していき、会社としてもスキルを上げつつ、独自色を出していきたい。	
	繊維	盛り上がっているのは良いこと。
木材	各業種において設備投資が旺盛なため、当社事業にも恩恵がある状況。消費税増税、オリンピックが終わった後にどのような景況悪化があるか心配。少なからず影響があると危機感を募らせている。	
	ドラマの影響で県内の観光客が増え、好景気を感じる。	
機械・金属	鹿児島弁には字幕を付けた方が良い。	
	金属市場に資金流入し、実際のニーズとは関係ないところで価格が乱高下。根本的な改善が欲しい。災害対応についてどこまで自治体は考えているのか？北海道の大規模停電等は参考にすべきである。	
電機・電子	(西郷どんについて)話題性はあるが、直接弊社には効果がない。	
	業況は前年比では悪化しているが、予定通りに進捗中。大河ドラマは営業トークとして有意義である。	
建設業	土木	西郷どんを描いた看板を貼り付けた機材を持って県外施工に行くのも良い。
		(西郷どんについて)一時的な好況があるだろう。
		公共工事の発注が減少。
	建築	建設業は一見好況に見えるがその実は苦しい企業が多い。災害等を考えると各地域になればならない業種の一つではあるので官民の協議において整理合併等による業界再編を推進し、将来の経済活動の維持を画策すべし。
	総合建設	受注産業であり、公共工事のくじ引き入札による運頼みで経営の見通しが立てにくい。
その他建設	関連業界が盛り上がって良いことだと思う。	
	運賃等値上げ相当分、価格に全額転換できず、収益の悪化になりかねない。	
卸売業	家電	やはり幕末や戦国時代の大河に興味がある方がまだたくさんいると思うので、この時代を継続して放送してほしい。

小売業	百貨店・スーパー	鹿児島弁すぎて分かりづらいように思う。我々もセゴどんとは言わない。さいごうさんと言う。
		関連グッズを販売しているが、極端に売上が増加していない。
		昨年は台風特需や競争店の店休等での売上増があった。今年は苦労している。
	自動車	新型車投入等も有り業績を好転させるべく取り組んでいる。
		企業のトップとして西郷どんの行動は非常に勉強になる。
	石油・ガス	(西郷どんについては)盛り上がっていない。
その他	大河ドラマ後の観光客誘致策や施設の整備がどの様になるのかみえてこない。	
	奄美には、大型クルーズ船が寄港しているが、当社はうまくお客さんを取り込めないでいる。	
	社員教育の一環で、地元の偉人を学ぶ研修会を開催した。	
その他産業	旅館・ホテル	当社は効果があったが、宿泊業全体にまでは及んでいないと思う。特に本来効果を受けるべき霧島地区が新燃岳や硫黄山噴火により、逆にダメージを受けていることは申し訳ないこととと思っている。
		西郷をスター扱いするというのも、どうかと個人的には思うが。密貿易や製糖産業の強制労働、武器製造といった後ろ暗い歴史も踏まえての薩摩＝鹿児島県であることは、中立的な視線で勉強してほしい。
		上期(4～9月)は非常に好調。8月は宿泊売上、宿泊客数については、単月で過去最高を記録。
		郷土会を関連付けた広報(番組やイベント)など取り入れていけたら良い。
		(西郷どんの主人公役が)堤真一さんだったら、、、
	運輸・通信	花倉の西郷蘇生の屋敷をもう少し手入れして欲しい。
		大河放映をきっかけに当県の歴史的功績を内外にアピールし、郷土意識の醸成につながれば。
		ブームになり自分も楽しんでいる。
	サービス	南大隅町では観光客も増えて連休などは賑わっているようだが、業種的に関連していないように思われる。
		2020年オリンピック・国体がある。また、当社の業務的には来年の消費税増税に伴い、近年、業績が安定している。今後の計画もたてておかなければいけない。また、西郷さんは、鹿児島の誇りのシンボル。今年に限らず、これから鹿児島県民として心に生活していくべき。
		官民一体の取組みの必要性を感じる。
		大河ドラマは、毎週欠かさず見ている。女性視点の作りがなかなか面白いと思う。
		鹿児島全体が盛り上がることは、直接業績に関わりなくても、間接的に企業として元気をもらえる。
競争激化を予想していなかったため管理部門の強化が遅れているので、受注減を心配している。		
大河を当て込んだ観光資源への投資は行われているが、費用対効果はどうか？		
明治維新150年の年、大いに活かしPRしていきたい。		
農林水産	(西郷どんについて)地元として大いに関心を持って観ているが、営業(事業)とは無関係である。	